

# みんな にこにこにっこり なかまだよ！

小学校1年生

## I アクティビティーについて

### ねらい

幼稚園や保育所の子どもたちと交流する計画を立て、実際に遊んで楽しみ合う体験活動を通して、他者への共感や連帯感を育成する。

#### ◆◆◆視点◆◆◆

- ◎共感と連帯感
- 参加・参画
- コミュニケーション能力

### 設定の理由

この発達段階の児童は、他者の気持ちをくみ取ったり、同じ学級集団の一員として互いに認め合い、共通の目標に向かって協力することがまだ十分にできるとはいえない。

そこで、自分より小さな幼稚園や保育所の幼児とかかわる活動に取り組みせる体験活動を通して、他者への共感や、学級の児童たちとの連帯感を育てたい。

### アクティビティーの概要 (6時間扱い)

活動1 園児たちを招待する計画を立てよう。  
・企画を立案する。 3時間  
・招待状を作成したり、ゲームの準備をしたりする。



活動2 園児を招待し「みんな にこにこにっこり なかまだよ！」を実施する。 2時間  
・それぞれの分担に分かれ、遊んだり、お世話をしたりして楽しい交流の時間を過ごす。



活動3 「みんな にこにこにっこり なかまだよ！」をふり返って話し合う。 1時間

## アクティビティーの実際

- 準備するもの
  - ・ 体育館など広い場所（活動が十分にできるスペース）
  - ・ いろいろなコーナーを設け、1年生と園児がのびのびと活動できるようにする。
  - ・ 手作りの物を景品やお土産として用意する。
- アクティビティーの進め方

### 活動1 招待の計画

- ① 1年生に、自分が幼稚園や保育所の園児だった頃のことを想起させながらどんなことをしてもらおうとうれしかったか、楽しかったかを考えることから企画を立案させる。
- ② 相手が喜ぶような招待状を作成させる。
- ③ 当日に向け、心のこもった準備をする。

### 活動2 「みんな にこにこにっこり なかまだよ！」の実施

- ① 一人一人の児童がそれぞれのコーナーで生き生きと活躍できるように支援する。
- ② 参加者が互いに楽しめる場ができるよう教師が支援する。

### 活動3 話し合い・ふり返り

- ① 活動が終わったら、ふり返りカードに記入させる。
- ② ふり返りカードをもとに話し合う。

#### <ふり返りの留意点と発問例>

○互いに話し合ったり、認め合ったりして関わり合うことの大切さに気づかせる。

○感想を発表し合うことで、互いの達成感につながるようにする。

発問例

どんなことをしたら、幼稚園のお友だちは喜びましたか？

発問例

この会を通して、どうすると相手に自分の気持ちが伝わるのか、思ったことや気づいたことについて発表しましょう。

発問例

自分が楽しかったのは、どんなときでしたか？

## アクティビティを指導するポイント

- ◇ 様々な人々との出会いや交流を数多く重ねていくことにより、望ましい人間関係を築くことができる。自分より年下の園児たちと交流することによって、一年生が自覚を持ち、主体的な行動がとれるようにしていきたい。
- ◇ 1年生の自由な発想を生かして、楽しめる場作りを工夫できるように支援する。
- ◇ ただ、自分が楽しむだけではなく、年下の子への気配りや活動するときのルールの大切さなどにも気づかせるようにする。

## Ⅱ 授業展開例

～小学校1学年「生活科」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「みんな にこにこにっこり なかまだよ！」を行い、幼稚園のお友だちに、喜んだり、楽しんだりしてもらおう。</p> </div>	
3	1 「みんな にこにこにっこり なかまだよ！」の計画を立てよう。 2 会の準備をする。 ・招待状を作る。 3 準備をしよう。	○園児たちを招待するにあたり、「どんな会」にするのか、どのようにしたら「園児たちが喜ぶ会」にできるかを話し合わせる。 ○招待状を作りながら「会」のイメージを膨らませ、準備に意欲的に取り組めるよう支援する。
2	1 「みんな にこにこにっこり なかまだよ！」をひらこう。	○園児を招待して、園児たちが喜ぶ会を実施する。 ○招待した園児を、それぞれの分担に分かれ、遊んだりお世話をしたりして、楽しい時間が過ごせるようにする。
1	1 「みんな にこにこにっこり なかまだよ！」をふり返って話し合う。	○「気づいたこと」、「わかったこと」、「もっとこうすればよかったこと」などの視点で、活動をふり返らせる。 ○互いの達成感を味わわせるよう、自分が楽しかったこともあわせて発表するよう声かけをする。

### Ⅲ 資料

(1) ワークシート

## どんなことができるかな～

1ねん くみ なまえ

「じぶんが してあげたいことや できるとおもうことを かいてみましょう。」  
(事前)

「できたかな？」 (体験後 感想も含む)

ようちえんのおともだちはどんなようすでしたか？ (1年生から見て)